



黒菱特集は  
14ページから

# 黒菱山荘基金が いよいよスタートします



石神井高校同窓会紙  
「きずな」第48号  
平成11年5月発行

1999今年のコンテンツ  
石神井同窓会 98News  
総会議案のお知らせ  
活躍するOB・OG  
同窓生の近況  
黒菱山荘特集  
同期会の告知 / 報告  
住所不明者を探せ!  
同期会をやろう! 99



Let's Enjoy Kurobishi Life! 16ページへ!

昭和三十六年(一九六一)に建設され、多くの石神井生の青春の思い出を育んできた黒菱山荘ですが、さすがに寄る年波に老朽化が深刻な問題になっています。そこで黒菱山荘の修復と維持のための黒菱基金を同窓生をはじめ、ひろく募ることにしました。

(関連記事十四ページより)



同窓会ホームページをご覧ください  
<http://www.shakujii-club.gr.jp>  
関連記事は13ページ

## 住所不明者キャンペーン 「あの人はどこに?」スタート

同窓会の一番基本になるものは、より多くの会員の正確な住所です。現在、同窓会生は二万人を越えています。この「きずな」をお届けできているのは、その約六割です。同窓会でも同期会でも、より多くの仲間参加を呼びかけるには名簿が大切です。そこで、本号では住所不明者の全リストを掲載、併せてインターネットでも連動したキャンペーンを展開します。来年の六十周年に向けて、ひとりでも多くの同窓生に「きずな」を届けられるように、「協力下さい」。

## 同窓会のシーズンがやって来ました。

### 母校に集まれ! 今年は6/12(土)



今年も同窓会総会が開催されます。懇親会も例年通り本校体育館特設会場で、好評のビュッフェスタイルで行います。奮ってご参加ください。(懇親会の会費は例年通り飲み食べ放題で会費¥1,000!です)

## 東京校歌祭 参加者大募集

今年も東京校歌祭が開催されます。12/11(土)日比谷公会堂で旧制中学以来の伝統校を中心に、都内23校が校歌や応援歌を披露します。あなたも参加しませんか?



写真は88年の参加者。お子さま連れも歓迎です!



(関連記事4ページ)

定期総会開催のお知らせ  
同窓会規約第9条の平成11年度定期総会を開催しますので、召集いたします。  
平成11年6月12日(土)14:00  
より 平成11年4月吉日  
同窓会会長 高橋 勇

# '98-99 石神井NEWS

# 体育祭



多くの同窓生にとっても、大きな思い出である体育祭。その伝統は、いまの石神井生にも受け継がれています。  
 昨年は、「マスケット」が失火で焼失するトラブルがありました。若い石神井生のエネルギーはますます意気軒昂のようでした。

## 東京校歌祭



二〇回生の峯岸さんより、ハワイのマウナケア山頂の、すばる望遠鏡。取材の美しい写真をおくりいただきました。

### 東京校歌祭とは？

東京校歌祭とは、旧制中学(ナンバースクール)の校歌を卒業生が歌う集いとして平成五年に発足しました。本校は旧制府立十四中をルーツに持つことからこのお祭りに参加しております。現在は旧制市立中、私立中も加わり日比谷公会堂で盛大に開催し、各校OBの親睦を深めております。昨年は十一月一日にブラスバンドを交え、新旧校歌に加え、応援歌を披露いたしました。今年には十二月十一日に日比谷公会堂で開催が決定。なるべく多くの同窓生の方々の参加をお待ちしております。

お問い合わせは  
03-3991-3586 高橋(20回)

## 同窓会の懇親会にお越しください!!



Welcome!

懇親会は午後三時からの予定  
 会費は1,000円で飲み放題食べ放題(本来は会費2,000円ですが、同窓会から補助があるので、1,000円です。オク!)



今年も恒例のビュッフェスタイルの懇親会です。昨年はビンゴゲームと豪華景品で大いに盛り上がり、しかも石神井高校吹奏楽部OB(石吹)の演奏に合わせて、生バンドでの校歌を大合唱しました。本当に楽しい一時を送りました。



### 学校からのPRに思う

校長 外池武嗣



本校の卒業生は二万名を越え、来年は創立六十周年を迎えます。会員の皆様におかれましては、母校にいつも思いを寄せていただき、感謝を申し上げます。

私も着任してから二年目となり、「ご承知のように高校改革や学校運営など教育をめぐる様々な動きの中で、これまでの学校の実績や実態を踏まえつつ、教職員と共に励んでいるところ」

とところで、現在、教職員の分掌の一つにPR委員会というのがあり、ここでは中学生・保護者に向けて、学校案内を作成したり、学校見学

会や説明会の企画・運営を工夫するなどしてPRに努めています。また、校長・教頭・教職員が分担して練馬、中野、杉並区の全ての中学校を訪ね、挨拶がてら学校案内や情報を提供し、いずれも好評です。

中学卒業生の減少と私立志向が進む中で、どの高校も待つ姿勢ではなく、公立の良さや学校としての特色を積極的にPRする必要に迫られている時代になっています。本校の特色や伝統はこのように生かされているのだ、ということをお断りし、発信することが求められており、本校もそれに応えております。この三年ほどはおかげさまで推薦入学応募者は三倍を越し、一般入試でも三学区の中では男女とも平均的な応募状況を保っています。

このことは都立高校の改革にも関連しています。少子化にもなると都立高校の適正配置が移行しつつあり、一昨年、新しいタイプの学校も含めた第一次の整理・統合計画ができて、更に今年の秋にも第二次実施計画が発表される予

### 同窓のきずなと自己責任

同窓会会長 高橋 勇(中二回)

新緑の候、会員各位の皆様方には「ご清米のこととお慶び申し上げます。

本年は二十一世紀を目前にして社会・政治・経済・教育など、大きな変革期を迎え、それぞれの分野とも厳しい見直しと、新たな改革を求められています。その中において、最近では「自己責任」ということが叫ばれ始めました。その一方で、「メディア時代」とも言われるように



各種情報や宣伝があふれています。それらの中から必要な情報を得て自分が責任を持って判断し処理することが求められています。

定になっております。これまで機会あることに教育委員会などに、伝統を生かした校風、生徒の関連な実態、教職員の熱心な指導、保護者や同窓会の支援など石神井高校の「よさ」を発信してまいりました。客観的にみて、交通の便、広い敷地なども利点だと思えますが、特に都立高校のなかでは進学希望者が大部分の中で部活動・クラブの加入率が高く、休日を含めてよく活動し、成果をあげていることも大きな特色の一つと思われまます。

現在、都立高校では授業公開や学校運営への保護者や地域の方々への参画、開かれた学校づくりが課題になっております。学校は生徒のため、保護者あつてのものですから、よい点や積み上げを生かしながらも改善すべき点は改め、時代の変化や要請を受け止められる学校が求められています。これらはむろん教職員や保護者の理解と協力がなければ、できにくいことです。折しも四月に都知事が代わられました。石神井高校が二十一世紀においても引き続き公

### 懇親会、同期周年集會への助成

定期総会の後では例年通り「懇親会」を持ちます。企画委員会の皆さんや幹事会の皆さんにより、恩師の先生方をお招きして、楽しく和やかに旧交を暖めたり、イベントに参加したりの会です。多数の会員のご参加をお待ちしています。また、同期会を開かれている場合、十一年刻みの周年記念の集い」を企画する際には、本部にご連絡くださればお祝いの寸志助成をいたします。

### 広報の充実

同窓会としては前述の観点からも、全会員との「きずな」を結び広報活動に努めて行きます。担当役員を中心にボランティア的な協力を得て、会報誌四十七号からカラーページを加えて発行しました。好評をいただきましたので本号もカラーページを入れております。また、比較的若い世代や遠隔地の会員の方々向けに、インターネットのホームページを開設していますので、大いに活用して下さることを期待しています。

### 東京校歌隊へのご参加を

平成五年にスタートした旧制ナンバースクールと旧制市立、私立中学校も加わって、旧校歌や現校歌を歌い交歓するイベントで、本年は第七回になります。毎年「日比谷公会堂」で実施していますので、ステージ一杯の参加を望んでおります。「のぼり旗」も用意してありますので、男性会員はもちろんのこと、現在の校歌も歌いますので特に女性会員の参加を熱望して

### 会員名簿の発行に向けて

一九九四年度版「会員名簿」を発行して以来、五年を経過しました。本来は本年度に名簿を発刊してもよいのですが、節目の年となる二〇〇〇年が母校の六〇周年にもあたりまますので、来年度に「会員名簿」を発刊します。そこで、各期の幹事さんをお願いですが、同期の会員の動静を把握してください、現在でも「不達」で戻ってしまう会報が多くあります。住所移動の激しい現状ではやむを得ない面もありますが、会員住所の空欄を可能な限り埋めて、有効利用される名簿づくりをしたいと思います。未筆になりますが、母校の益々の隆盛と、会員各位のご多幸とを祈念いたします。

平成十一年は石神井六十周年の前夜祭です。同窓会に結集しましょう！



### かねがえ矯正歯科クリニック

歯学博士 鐘ヶ江 晴秀 (高校20回)

〒194-0022 町田市森野1-36-11ピオレ町田ビル6F  
TEL0427-22-4182

小田急線町田駅東口、北口出口より徒歩1分

### 同窓会紙「きずな」の編集スタッフ求む!

次の「きずな49号」スタッフを募集しています。ご希望の方は、03-5332-3431 板谷までご連絡ください。

おります。

# 同窓会からのお知らせ

## 平成11年度事業計画案

基本的には例年通りの行事を実施します。  
 会報「きずな」第48号カラーページを加えて発行します。第47号のカラー印刷が好評でしたので、本年も同様に発行します。  
 昨年度からインターネットに「石神井高校同窓会ホームページ」を開設していますが、本年度も継続しますので、大いに活用してください。

URL <http://www.shakujii-club.gr.jp>

総会後の懇親会を例年通りに実施します。  
 懇親会の持ち方についての意見もありますが、本年も実行委員会の企画運営で実施します。  
 第七回「東京校歌祭」に参加します。会員の皆様の多数参加を期待しています。なお、本年度は12月11日に日比谷公会堂で開催予定です。  
 会員名簿の発行準備に入ります。  
 各期の幹事さんには会員住所の把握をお願いして、ご協力ください。  
 黒菱山荘の三者協議は継続します。

## 定期総会開催のお知らせ

同窓会規約第9条の平成11年度定期総会を下記のとおり開催しますので、召集いたします。

平成11年4月吉日 同窓会会長 高橋 勇 記

日時：平成11年6月12日(土) 午後2時より

場所：母校会議室

議事：第一号議案 平成10年度事業報告

第二号議案 同 会計収支決算報告ならびに会計監査報告

第三号議案 平成11・12年度事業計画案

第四号議案 同 会計予算案

備考 総会終了後、恩師先生方にも加わっていただき、懇親会を持ちますので、会員各位の多数のご参加をお待ちしております。

## 平成10年度会計決算書

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)

	予算	決算	増減	備考
1) 収入の部	6,018,451	6,442,508	424,057	
ア. 繰越金	517,451	517,451	0	
イ. 入会金	1,500,000	1,445,033	54,967	289人
ウ. 年会費	4,000,000	4,195,020	195,020	2,005人
エ. 雑収入	1,000	285,004	284,004	広告収入、寄付金など
) 支出の部	6,018,451	5,999,299	19,152	
運営基金積立	0			
A. 総会費	900,000	856,934	43,066	懇親会助成
B. 本部費	300,000	198,890	101,110	会議、庶務、慶弔
C. 幹事会費	200,000	52,150	147,850	会議など
D. 広報費	1,400,000	1,669,036	269,036	きずな47号ほか
E. 発送費	2,000,000	1,856,328	143,672	広報、納入用紙など郵送
F. 行事費	250,000	215,361	34,649	第6回東京校歌祭
G. 山荘費	650,000	650,600	600	黒菱山荘維持管理
H. 予備費	318,451	500,000	181,549	運営基金積立
) 差引残額	0	443,209		次年度への繰越し

## 平成11年度会計予算

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

	予算	備考
1) 収入の部	6,083,209	
ア. 繰越金	443,209	
イ. 入会金	1,360,000	5,000円 272人
ウ. 年会費	4,000,000	2,000円 2,000人
エ. 雑収入	280,000	広告収入、寄付金など
) 支出の部	6,083,209	
運営基金積立	0	
A. 総会費	900,000	
B. 本部費	250,000	
C. 幹事会費	200,000	会議など
D. 広報費	1,600,000	きずな48号、インターネットホームページ維持
E. 発送費	1,900,000	会費納入用紙、広報誌郵送
F. 行事費	250,000	第7回東京校歌祭参加
G. 山荘費	650,000	黒菱山荘維持管理(山荘委員会へ交付)
H. 予備費	333,209	運営基金積立
) 差引残額	0	次年度への繰越し

上記の通り、平成10年度の会計収支を決算して報告いたします。平成11年4月4日

会計 川口 弘  
小野塚 直子

上記の会計決算を監査した結果、適正であることを認めます。平成11年4月19日

会計監査 道家 正昭  
濱崎 隆光

## 平成11・12年度 同窓会役員候補者

任期 平成11年7月1日～平成13年6月30日

会長 高橋 勇(中2)	【母校側】
副会長 林 弘(中2) 幹事長	名誉会長(校長)
〃 城 和裕(高12) 行事	外池 武嗣
〃 高橋 一夫(高20) 広報	参与(教頭)
書記 佐伯 博敏(中2)	久住 幸雄
〃 榛葉 祥子(高7)	参与
〃 板谷 方彦(高27) メディア	山下 章(山荘担当)
会計 道家 正昭(高21)	事務局
〃 小野塚 直子(高43)	手崎 政仁(庶務担当)
会計監査 川口 弘(高4)	
〃 濱崎 隆光(高40)	

## 会費納入のお願い

同窓会の運営は、会費によってまかなわれています。全会員への会報発送費だけでも200万円の予算を計上しています。会費納入の振込用紙を紛失などの場合もあるかと思えます。下記の方法で会費納入への格段のご協力をお願いいたします。「きずな」と同封の振込用紙で郵便局からお振り込みいただくと、お名前を書き込む必要がなく、振込手数料は同窓会負担になるので、最も簡単です。同封の振込用紙を紛失された場合、下記の方法で会費をお振り込みください。

郵便局をご利用の方(用紙は郵便局備え付けの青色を利用) 振替口座00170-6-50972名義: 東京都立石神井高校同窓会  
 銀行など金融機関をご利用の方 さくら銀行武蔵関支店 普通 6516437名義: 同窓会 高橋勇(ドゥワカイ ヲカシイ)

どちらの場合も、振込手数料をご負担ください。会費は年・2,000円です。また整理の都合上、振り込み人のお名前のあとに、卒業期か卒業年を書いてください。  
 (例: 花咲 太郎 高5、花咲 花子 30年卒)

十一年間を振り返って

旧職員 本間 寛(高校三〇回)

昭和六十三年四月に母校に数学科の教員として赴任以来、今年の三月まで十一年間、同窓会の事務局の仕事の手伝いをさせていただきました。この間何事もなく無事過ごせたのも、役員・幹事の方々をはじめ、同窓会員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

この十一年間の同窓会活動で印象深かったものとして、創立五十周年の記念総会、祝賀会の開催(平成四年十一月七日)と、同窓会名簿の発行(平成六年六月)が挙げられます。役員会はそれまでも活発に活動していましたが、年々総会・懇親会の出席者が減少し、今後の同窓会活動が心配され始めた頃、創立五十周年がやってきました。記念総会・祝賀会を盛大に催し、同窓会全体の活性化を図ろうということで、役員会をはじめとして大勢の方々が一躍に活躍の場を大盛況となりました。その後、懇親会は数々の楽しい企画を盛り込み、毎年多くの方が出席する会となりました。

また、会員数が一万八千名を越え、同窓会役員の手作業では会員の動向を把握するのが限界にきていましたので、五十周年の記念事業のひとつとして、名簿の発行およびその後のメンテナンスを業者委託により行うことになりました。これにより住所不明会員の数が大幅に減少し、また会誌「きずな」の発送もスムーズになりました。こうした事業に事務局として微力ながら活動のお手伝いをさせていただきましたことは、私にとって石神井での良い思い出になりました。異動により石神井を離れることになりましたが、今後も同窓会の活動に協力できれば幸いです。

報 三橋 重男先生(数学)  
田中 不二夫先生(数学)  
清水 昭次先生(保健体育)

平成10年度 進路状況について

石神井生の進路

毎年恒例の「サンデー毎日」全国著名1380高校の主要大学合格者が4月25日号に掲載されました。同記事によれば石神井は国立は全敗、私立も最近のいわゆる上位校である早慶上智がゼロとなっており、奮わない都立勢の中でも一際寂しい姿をさらしている

ます。果たして来年も著名1380校の中に加えてもらえるかどうか、とても危うい気がします。しかし、気落ちすることはありませんでした。母校進路指導の田島先生から頂いた資料を参照しますと、学芸大、東京芸大、水産大等に合格者があり、各私立の合格者数も「サンデー毎日」の数字よりはかなり多くなっています。

現役の進路を概観しますと、四年制大学82名、短大49名、専門学校53名となっ

ています。昨年の実績と比べますと四大が15名、短大も15名増えていきます。また、浪人生から四大へ153名が合格しており、このところ多くの都立高校が「都立四年生高校」と呼ばれていることが納得させられます。(田島先生からの資料を掲載します)

Table with 3 columns: 現役 (Current), 浪人 (Repeat), 合計 (Total). Lists various universities and their student counts.

Table with 3 columns: 現役 (Current), 浪人 (Repeat), 合計 (Total). Lists various vocational schools and their student counts.

# 特集 活躍する OB・OG

ここでは、いろいろな分野で活躍する同窓生の話をご紹介いたします。

## 草野 昌一さん (高校一回) 藍綬褒章を受章 また第四〇回レコード大賞功労賞を受賞

漣(さざなみ)健児のペンネームで、六〇年代のアメリカンポップスの訳詞で活躍された草野昌一さん(現・シンコーミュージック社長)が、藍綬褒章を受章されました。氏は(社)日本音楽著作権協会の理事や(社)音楽出版社協会理事長など、音楽著作権の普及への長年の貢献に対しての受章とのこと。

また、昨年の大四〇回レコード大賞では、功労賞を受賞されました。こちらは、歌詞の翻訳つまり訳詞の世界での功績によるものです。



草野さんの作品は、六〇年代に流行した日本のポップスに大きな足跡を残されている、というお話を聞いて、

曲目、歌詞、その訳詞が、そのお話を聞いたので、



写真は、東芝EMIより発売の「漣健児のワンダーランド 60年代の60曲」

大変驚きます。坂本九の「すてきなタイミンク」、弘田三枝子「ヴァケーション」、中尾ミエ「可愛いベイビー」をはじめ、ひとつの時代の流行歌を、おひとりで翻訳されているかのように、大量の訳詞をし、それがまたヒットしています。当時の日本語カバーバージョンの大半を訳詞した、訳詞の達人、漣健児がもうひとつの顔というところにこそあります。また、子供たちに親しまれている「ミッキーマウスマーチ」などの訳詞もされたそうです。

これらの創作活動は、レコード会社専属ではなく、氏が創刊された雑誌「ミュージックライフ」の編集長の立場で続けられたことから、昨年一〇月には、草野さんの作品が国内の大手レコード会社七社から同時八タイトルが発売されました。通常複数のレコード会社から同時期に同じテーマのアルバムが発売されるといふことは大変めずらしいことです。

ともあれ、六〇年代ポップスで青春時代を送った諸先輩方は、このCDをお聞きになってみてはいかがでしょうか？

ビデオテープのかびとり  
SP/LPレコードの補修などいたします。  
資料を「請求ください」  
03-3554-9096  
Milfy ミルフィ  
板谷 久美子(高27回卒)  
http://www.gbp.co.jp/milfy

## パーソナリティとして活躍中の 宍倉悠子さんを訪ねて

(高校一回)

周波数八四・二メガヘルツのエフエム西東京という局をご存じでしょうか？NHKや東京エフエムといった大きな放送局ではなく、田無・保谷市をメインエリアに武蔵野市、練馬・杉並区の一部を聴取エリアとするコミュニティ放送局です。ひところ流行った「ミニFM局」とは違い、小さいですが正式な放送免許を持つFM局で、あの「田無タワー」(正式にはスカイタワー西東京というそうです)から一〇ワットの出力で送出され、石神井公園、井荻、荻窪あたりまでなら、クルマのラジオでも聞くことができるそうです。スタジオは、田無タワーのすぐわきの青梅街道沿いで、青梅街道からスタジオの中がちょっと見えます。

宍倉さんは、現在火曜日の午前十時から正午までの二時間「ヒーリング」すてきなとき」と



スタジオでオンエア中。後方は同番組ミキサーの川端淳子さん

という番組のパーソナリティを担当し、地元の話からニュース、天気予報、そしてゲストをお招きしておしゃべり、などの多彩なプログラムをこなしています。

宍倉さんはプロのアナウンサーではなく、独自の織物づくりなどの作家活動が本来のお仕事で、朗読のボランティア活動からエフエム局のパーソナリティを始められたという変わった経歴の持ち主。エフエム局の番組は、ともしれば若者だけの世界になりがちですが、宍倉さんはエフエム西東京「最年長」のパーソナリティとして、その落ち着いた声が大変魅力的でファンも多いとか。お住まいの地域が聴取エリアの中にある方は、毎週火曜日の一〇時から二時間、ダイヤルを八四・二に合せてみてはいかがでしょうか。また、番組のテーマが「ヒーリング」「安らぎ」をテーマに選曲をしているので、良いCDをご存じの方は、曲を紹介されてはいかがでしょうか？リンク先はFAXで〇四二四(五一)二八八八まで。

## パンの店

# リスドオル ミツ

J R中央線西荻窪駅南口歩2分  
03-3332-9683(代)

製パン一級技能士

## 廣瀬満雄(高21回)

(7)

寄稿・カメラマンの現場から

峯岸 雅昭(高二十回)

卒業してから三十数年、はやいものですね。今年五十歳になります。昨年の九段会館での同期会では多くの方にお目にかかれて幸いでした。数人の方がなくなっているのを知り愕然ともしました。

私は、大卒後小さな会社を経て、二十五年間出版社の小学館でサラリーマンをしています。職種は、カメラマン。若い頃は芸能、皇室、事件と何でも有りでしたが、現在は主に「週刊ポスト」、「Sapio」のインタビュウ物中心の落ち着いた仕事が多く、一番の柱は山根一真氏連載の「メタルカラーの時代」です。山根氏とは連載以前から苦楽をともにしています。NHKの番組で知っている方も多いでしょうが、日本の国立天文台がハワイ島マウナケア山頂(四、一メートル)に造っていた「すばる望遠鏡」がファーストライトをむかえました。一昨年、ピッツバーグ、ハワイから取材を開始し昨夏はピッツバーグで研磨完了の主鏡(直径八、二メートルの世界最大の鏡)の撮影、十月から一月まで、水着は持たず防寒用具持参で毎月ハワイへ通い、主鏡の山頂への運搬、清掃、望遠鏡本体への取り付け等完成までつきあいました。事業主体は三菱電機、コンピュータは富士通、運搬は日本通運、多くの方の話をうかがいましたが、知識と知恵と技術の結晶です。五年、十年後には現在では思いもつかない素晴らしい発見が期待できます。九月の正式開所式までもう一、二回ハワイ行きがもしれませぬ。もしハワイへ行かれる方があれば、現地にツアーがありますので一度マウナケアにのぼってください。世界観が変わるほどの絶景です、寒いです。

今年、これからはH ロケット、国際共同宇宙ステーション関連の取材が増えそうです。「メタルカラーの時代」に興味がありましたら、単行本と文庫本が出ていますので、一読していただくと幸いです。



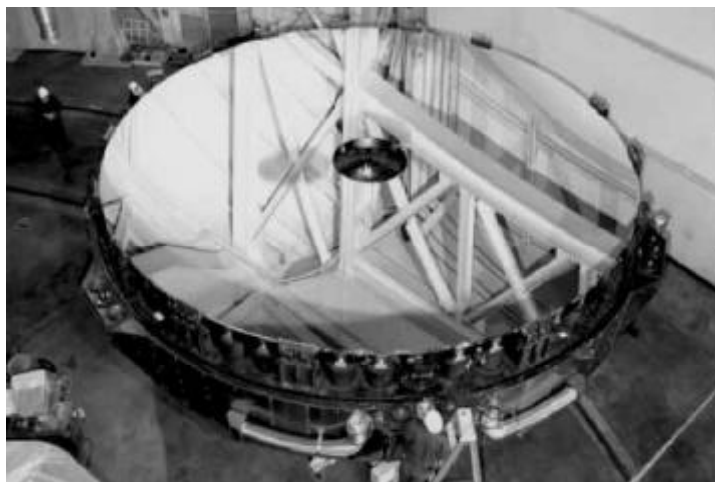
主鏡をマウナケア山頂へヘリより撮影



雨のオフロードを3台のトラクタで山頂へ



98/2/21 16:55 種子島宇宙センター



アルミ蒸着でガラスから錆になった主鏡

楽しそうなことばかり書きましたが、現場ではいつも苦労の連続ですが、過ぎてみればすべていい思い出になっていきます。リストラもななく年をとっても現場に出られるのは、所帯の小さい出版社勤務のおかげです。石神井卒の後輩カメラマンがもっとも増えるとうれしいのですが、フリーは食えないけど、サラリーマンカメラマンはヤクザで刺激的で、おもしろい世界です。



**(30~150名様)**  
**青山の石神井倶楽部で**  
**予算3,000~7,000円**

土日祭日貸切可

懐かしい顔・楽しい語らい  
 クラス会・同期会を(特典有り)  
 都内8店舗直営 株式会社 城和裕(12期生)

**☎03-3403-3461 レストランあおしま青山店**

〒107港区北青山1-2-3(船ビルB1)地下鉄青山一丁目駅分 店長 城 明美

# 同窓生からの お便り ・近況報告



「卒業して思うこと」

沼口大輔(高五十一回)

まずは、生徒。三年間驚きつづばなした。部活をやっている奴は部活にしか頭がなく、校外の活動をやっている奴も、そればかりは人に負けないと努力している。どんな奴にも自分の「土俵」があって、そこでは絶対に手を抜かない。しかし、すべての事にそんな姿勢を続けるのはつらく、難しいもので、それをこなしたら石神井生らしくはないし、手を抜く。ただ、この「やらない時は全くやらない姿勢」というもののおかげで、「やる時」つまり自分の「土俵」の上ではその分フルパワーで勝負に臨んでいく。この「石神井パワー」を批判する大人もいるかもしれないが、これ程に好きな事に食らいつくく瞬間を持つ人を僕は石神井外で見た事がない。これはこの先、将来の日本や世界を渡っていくには十分な「武器」になると思う。

式の時と推測：…編集部)石神井生の特徴を知っているから何一つ強制しないのだと思う。「嫌な事を強制するより、いいものを伸ばしてあげよう」とする気持ちが痛いほどわかった。だからだろ、石神井生と先生とは「信頼関係」のみがその人間を測る物差しとなっている。責任感のない、信用のない先生や生徒は、石神井では相手にされない。世の中が偏差値社会だろと金がすべてだろと石神井にはそんなの通用しない。偏差値も金もつばらって一対一の深い信頼関係のみを教えるから、生徒はしっかりした人間になって出て行くんだと思った。特に佐藤要介先生の人間性には熱いものがあった。最後に、三年間校舎で必死にバスケをやった勉強をして、仲間と笑い合って、求めていたものを総合すると「心の豊かな人間」にたどりついた気がした。とにかく、「心豊かな人間へと変えてくれた先生方と仲間達」へ、ありがたう。生まれてきて本当に良かったと思わせてくれた学校/校舎にありがたう。いい思い出もありがたう。こんな自分を産んでくれた父母に、今一度深く感謝をして、「二十一世紀」を「石神井パワー全開」でぶっ放していききたいです。

## コミュニケーション方法の変化に思うこと

野澤宏之(高校十二回)

私たちの青春時代のコミュニケーションをとる方法はたいていは会って話し合う「面談」によるものであり、会いにくい時や言いにくい言葉を伝えたい時、あるいは、記録や記念として残しておきたい時、文字を基本とした「手紙」の交換を行ったものです。「電話」は当時の普通の家には一台しかなく、友人や恋人とのコミュニケーションに余り使われなかった時代でした。使う時は、要件を手短かに伝える事に気を配ったりしたものです。ところが、今日、若者のコミュニケーションの取り方はどうでしょうか。街の中で歩きながら「携帯電話」を使っており、家に辿り着くと家の中の電話を使い延々と話しをしたりしています。そのコミュニケーション量は大変なものだと感心させられます。一方、コミュニケーション・ツールとして、近年世界中で驚くほど急激に増加しているインターネットでの「電子メール」や多数の人が参加してコミュニケーションできる「バーチャル・チャット」等が注目されています。ネットワーク関連の仕事を行ってきた者の一人として、また、今も、仕事上インターネットを最も有効な道具として使っている者の一人として、その利便性を否定するものではありませんし、今後の更なる発展を確信し願ってもおきます。しかし、考えねばならない事も多々あるようです。一部の企業で起こっている例では、隣の人に電子メールを送る人がおられます。それが、多くの人に同時に何らかの情報を送る場合や記録として残す必要がある場合は隣の人に送っても良いと思いますが、そつでないときは、顔を合わせて話しをしたいものです。もし、隣室の息子から電子メールを受け取ることになったら、あなたは、どう思いますか。また、この電子メール及びネットワーク・システムは年功序列で昇進してきた中間管理職にとってはその職位を脅かされるツールとなる可能性をもっており、経営者がフラット型あるいは文鎮型経営組織体系を構築し易くするとともに、他方、新たな「いじめ」のツールともなりえます。新しいツールはその性質と能力を正しく理解して使用したいものです。電子メールの発達は文章での表現能力の向上をもたらしと思いますが、人の目をみて、人の顔をみて、人のしゃべり方により、人の声の調子により、発言の真意や本音を判断したりする能力の向上はどうなりましょか。コミュニケーションをとる手段には、経済性、即時性、正確性、等々を考慮するのでしょうか。最も重要な事は、「相手」がどのように感じるか”を理解し思いやりを持って行動することではないでしょうか。と、自らに、反省を込めて…

第33回卒業OBが銀座でPHOTO展をやります！おとなの部活として、ねこ好きのArtist 集団 銀座NYartist倶楽部が銀座のギャラリーで銀座ねこ展を開催。かわいいねこphotoや、ねこイラスト、オリジナルねこ缶などなどねこづくしのART展です。モチロン入場は無料。33期卒、軟式テニス部の面々、その他ねこ好きの方はぜひ銀座で一杯やって盛り上がりましょう！！

33期 中谷内ふるく / Nakayachi Froku  
銀座NYartist 倶楽部 事務局 TEL 03-5658-6453  
ギンザギャラリーハウス TEL 03-3564-0821  
中央区銀座2-5-2 銀座1丁目駅1分  
6/21(月)~6/27(日)12時から7時まで(最終日は5時)

●年中無休 AM10時~PM10時

日帰り温泉 露天風呂

秩父湯元 武甲温泉

☎0494-25-5151

ニッコリ コイコイ

西武秩父線横瀬駅下車徒歩8分

横瀬駅には、西武特急レッドアローが4月から停まります。



### 三橋重男先生を偲んで

鍋木 (旧姓・加藤) 久美子 (高二十七回)

三橋先生との出会いは、高校一年の時の数学の授業からでした。先生は、チョークを軽く三本の指で摘んで黒板に向かうと、ものすごいスピードで数式を進め、ある程度までゆくとチョークを置き、手をもみながら教卓の横に立ち、ロシアの話をして下さいました。その時の先生は、ロシア語を交えながらとても情熱的でした。

私は高二の時、ロシア語同好会が発足される、という事で入部し、ロシア語の勉強の傍ら、先生からいろいろなお話を伺う事ができました。先生の話術の巧みさや、アカデミックな雰囲気につきり魅せられ、その後二十五年近く、追っかけをしておりました。晩年、何度かの手術で入院されている時も、フランス語、ラテン語など数力国語のラジコ講座のテキストを置いて、勉強しておられました。また、その数年前は、数学を教えながら、かつヒューマニズムを今の若者に教えたい。教える事は自分にとっても勉強なのだ、と受験を指導していらっしやいました。また、数学に関係する多くの著書や訳書を残されたからで、一番やりたかったのは、歌を詠むことであつたとお話しされ、多くの短歌を聞かせて下さいました。最後にいただいた年賀状に記された歌は、

「続けるラテン文法書のアンダーライン  
生活ともしく生きて来にけり」という歌で、先生のお姿そのものでした。  
また一九七八年「チエーホフの生涯(上下)」を訳出され、そのあとがきの中に、次のように記していらっしやいます。

「チエーホフの生涯をしみじみと読み、何よりもまず深く心を打たれたのは、その魂の強靱さである。身辺素樸として耐え難い折も、チエーホフはきつと読者をなぐさめ、勇気づけてくれるのだらう。」

この文章は、亡くなる一ヶ月前にお目にかかってお話をした最後に、残されたお言葉であ

りました。まだこの本を読んでいない私ですが、魂の強靱さに先生のお姿を重ねて、読んでみようと思えます。追っかけをして、足元にも及ばずにいましたのに、先生は逝ってしまわれました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

最後に、私よりかなり前の代の方々だと思われませんが、先生がピアノを買われた時に、お祝いに駆けつけて、ピアノを演奏してくれた方々が、どなただったのか、「あのときの感動を生涯忘れられません。」とおっしゃって下さいました。この誌面を借りて、お伝えしておきます。

### 三橋先生の教えてくださったこと

浜名 (旧姓 箕輪) 尚美 (高二十七回)

私は鍋木さんのおかげで、昨年九月約二十五年ぶりに三橋先生にお目にかかることができました。長年のプランクにもかかわらず、先生の笑顔は昔のまま、お声にも張りがあつて、ご病気のことをつい忘れてしまふほどでした。先生は体調の悪いのを押して、私の話を辛抱強く聞いて下さり、また熱心に語りかけて下さいました。

その先生の最後の教えとも言えるものは、「八十才になつたものでなければ、八十才の者の気持ちはわからないものだよ。」ということでした。

このことは私に衝撃を与えました。私は津軽三味線を弾いていましたから、少しぐらいその道で修行したからといって、うぬぼれるな、十分にわかつてもないことには、その年齢になるまでは決して興味本位に首だけをつつこんではならない、という戒めとして心に響きました。学問を積み、修行を重ねても、そうした思い上がりの心が、全ての努力と成果を一瞬にして無にもどしてしまふということを、やんわりとしかし厳しく諭して下さいました。貴重な一言でした。

ロシア語同好会の第一期生であつたというだけで、あまり目立たなかつた私の中に、小さな可能性の芽を見つけて下さつて、はるか遠くに

いながらもそれを約二十五年間ものあいだ、見守り続けて下さつたということ、翻訳者、教師という職業を通して会得された叡知を、ご自分の体のある限り、私にさすけ続けようとして下さつたという先生の優しい愛情に対し、私はただ「ありがとうございます」と繰り返す以外できません。

先生、どうもありがとうございます。これからも私の中に生き続け、教え続けていってください。

三橋重男先生は、昨年十二月にお病気のためご世界されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 同窓会のあり方を

もう一度、考えてみたくて・

勝見鈴代 (高校二十回)

昨年の「きずな」で、体育の青木慶子先生にインタビューをさせていただいた時の先生の言葉が、ズツとズツと心の中にひっかかったまま一年を過ごしていました。

気になつて仕方なかつた言葉・・・なるべく石神井高校で教師をしていたことを言わない様にしているんです・・・という一言でした。

青木先生は長く武蔵関にお住いです。普通なら胸を張って、かの石神井高校で教師をしていたことは誇りです、とさぞおっしゃりたいだろうに、と私の胸にちよつと悲しくズツと残っていたのです。

今、武蔵関かいわいで、我が石神井高校があまり評判のよくない高校だといわれているなら、何が悪いのかとが、どうすればよいのかなどを論じていないで、後に続ける為の同窓会作りをもう一度考えたら、我が石神井高校は胸を張れる母校になるのではないかと、ふつと考え

ていたのです。

在校生達が、素晴らしい同窓会を運営している先輩がいっぱいいるんだとわかつたら、学校を大切に思つたのではと言つのが、私の考えなのです。

一年に一度の同窓会をもつと違つた会にできないか・・・と考えたのです。

たとえば、講演会やコンサート活動を通じて、在校生にも今を考えたり、楽しんだり、悲しんだりすることの大切さを、心揺さぶることで伝えることは出来ないか・・・と思つたのです。

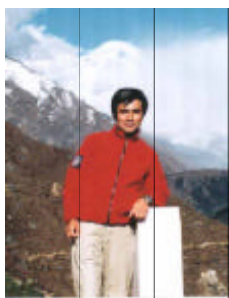
私達先輩が、「何かを伝えたい、そして伝えられる人々をたくさん作りたい」と心の底から思つたのです。

他の同窓会とも交流したりすることも大切なのではないかとも思います。何も有名な人がいなくたって、心揺さぶる話や歌、演奏だつて出来る人がいるだらうし、そうじゃない人だつていいのです。同窓会で心揺さぶる何かを考えませんか。

白馬山麓・山のプチホテル

GROVE INN

skala



石田 弘行 (高校16回) 山岳部・山荘OB  
白馬村山案内人組合所属  
美和 (高校22回・旧姓金井) ESS・山荘OG  
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村みそら野  
Phone 0261-72-4325

### 私は見た！列車銃撃の瞬間

樽井 秀美(中学二回)

この記事は、太平洋戦争末期、終戦の僅か十日間前、昭和二十年八月五日に、中央線浅川(与瀬間(現在の高尾・相模湖間)の「湯の花トンネル」(地元では猪の鼻トンネル)で発生した、アメリカ軍戦闘機による、国内最大の犠牲者を出した列車銃撃事件に関するものである。当時私は十六才でこの銃撃事件を山の上から目撃。母校石神井中とも関わりがあるので、五十二年を経たいま、このまま沈黙するに忍びなく、記憶を頼りに思い出すままに纏めた次第である。

昭和二十年八月五日、私は浅川町の山中にあった、「中島飛行機地下工場」の入口に近い事務所の中にいた。この地下工場は浅川駅の疎開先というのみで、工場内の様子や周りがどんな場所だったかは、はっきり覚えていない。(東高尾山稜、金比羅山の中腹に縦、横、碁盤目の大規模な地下工場があったといわれた)

いったい私がなぜこんな所に来ていたのか、まずこれからお話しせねばなるまい。

母校「石神井中学校」では、受験に失敗した浪人たちを、五年卒(一期生)四年卒(二期生)の別なく、四月から通常の学校と同じように登校させ、「石芳隊」と名付けて校庭を耕作させたり、周辺農家の畑仕事の応援をさせたり、B二九空爆跡の復旧に使役させるなど、およそ学生とはかけ離れた毎日を二十人位が送っていた。また、先生に代わって在校生の世話、自習時間の立ち会いなどもやっていた。私もその内の一人であった。当時は、ほとんど自分たちの勉強は出来なかった。私の記憶では入学以来お世話になり、「え組」担任だった故吉田寿先生がおられて、我々を纏めていた。そしてこの地下工場に動員学徒として駆り出されていた三年生に、この日一日だけ先生の代理として付き添うため、私は浅川に出向いたのであった。理由は、私が、一番近い中央線豊田に住んでいたからである。

八月二日、八王子市はB29、六十九機の飛来と、六十九万発の焼夷弾攻撃を受け、死者は四百五十名、市街地の八十六%が灰塵と化した。八王子駅では、駅舎は勿論、架線、線路、信号所なども焼失して、中央線は不通となった。三日たった八月五日、やっと開通したばかりであった。

さて初めての役目であり、特にやることもないで事務所の椅子に腰掛けて外を眺めていた。そこへ一人の若い女の人が挨拶に入ってきた。中央線が走り出したのでこれから田舎の家へ帰るのだと言う。事務所の人々にお礼を言っ

て嬉しそうに出ていった。やがて敵機襲来を告げる空襲警報が鳴り響いた。この頃はいつも昼前になると決まって警報が鳴り、「ムスタング」と呼ばれた敵機のP51型戦闘機が我が物顔に上空を飛び回って、人影や動くものを見付けると超低空で、繰り返し機銃攻撃を加えるので、警報が解除されるまでは生きた心地がしなかった。

この工場では警報が鳴ると、私も数人の生徒たちと急いで細い山道を登って避難した。夢中で暫く逃げ、気が付くと急斜面を前にした雑木林の中、丁度体がすっぽり隠れるブッシュの中に座り込んでいたのである。視界は前方が開けていたので空と向こうの山がよく見えた。今思えば現在の京王高尾線、最後のトンネルのある上部、甲州街道に面した山の急斜面に居たのではないだろうか。

まもなくキューンという風を切るような敵機の音が聞こえてきた。と同時に「ビー」という高い電気機関車の警笛がはつきりと聞こえた。私は鉄道マニアだったのでトンネルに入る手前で、機関車が警笛を鳴らすことを知っていた。

「列車が動いている、危ない」と直感したとほとんど同時、バリ、バリと耳をつんざく銃撃音とともに、目の前はかき高い雲の中から突如急降下してきた二、三機のP51が機銃掃射を浴びせる様子のはつきりと見えた。あつという間の出来事であった。ここからは列車の様子には分からなかったが、唯恐ろしさに声も出なかった。「鬼畜米英」当時のこの言葉はま

さに真実であり、見つかったら最後、情け容赦なく無差別に攻撃してくるP51こそ悪魔の凶器だったのだ。やつらは更に二、三回攻撃を繰り返した。ほんの数分の事のように思えた。やがてやつとこのことで悪魔も去り、我々もはっとした気持ちで工場へ戻る事ができた。

「列車は大丈夫だったのか、事務所内はまだ機銃掃射の恐怖と興奮が覚めやらなかったが、ともかく遅い昼食を取ったように思う。そのうちに「さっき帰っていった女の子が列車に乗っていて撃たれて死んだ」という情報が入ってきた。「可哀そうにあんなに元気で帰っていったのに」と皆が話している。しかし「明日は我が身」と思うと、気の毒がってばかりはいられないのであった。「小仏トンネルの手前辺りで、機銃掃射で列車の人が大勢死んだ。今怪我人をトラックで運んでいる。気が滅入るような悲惨な話ばかり伝わってくる。暗いニュースにはもう慣れたこの私にも、この先戦争はどうなっていくのか、強い不安が頭をもちあげてくるのを振り払うことはできなかった。

事務所、工場内外の動きが慌ただしくなったのが人の出入りで分かった。浅川地下工場へ物資輸送をしていた陸軍東部軍輜重隊や大和運輸のトラックも負傷者のピストン輸送に協力したと言われている。

こんな大騒ぎのため、生徒達は終業予定時刻より早めに帰されたと思う。しかし浅川駅まで来てみると、電車は不通、復旧の見込みは不明といわれ、一時途方に暮れたが運良く、怪我人を運び終わったトラックに拾われて立川まで行き、再び不通の線路を歩いてやつとこのことで、我が家に帰り着く事ができたのである。長い夏の日の日夕暮れであった。

一九九八年十月十一日、思い出すままに記す。

注

八王子空襲の三日後の八月五日の昼頃には中央線湯の花トンネルで走行中の新宿発長野行き四一九列車がP51の銃撃を受け五十名以上が亡くなっている。この列車にたまたま乗

り合わせた浅川工場の女子工員が一人亡くなったが残念ながら女子工員の身元は分かっていない(出典：齋藤 勉著「下秘密工場」のんぶる舎、一九九・十一月二十五発行)

この湯の花トンネルの空襲が機銃掃射による列車空襲としては太平洋戦争中日本国内で最大の死者負傷者を出したわけは、列車がトンネルに入ったところで停止してしまい満員の客車は何も防護もないままに何度となく機銃掃射に晒されたからであった。P51が飛び去った後、車内には即死者負傷者が横たわり恐怖のあまり列車から脱出できなかった人たちが残されていた。座席や荷物も散乱したうえに血や肉片が座席や壁に飛び散り床には血も流れていて滑って歩きにくい所すらあった。名前の分かっていない死者四九名亡くなった方の八割程度という重軽傷者三百余名前記の亡くなった浅川工場の女子工員の名は森下むつ子十八才である(齋藤 勉著、中央線四一九列車のんぶる舎、一九九二・八五発行)

同期会紹介はみだしコーナー 昨年ご紹介できなかった分です

第33期同期会、ゆかいにやりました  
33回卒業 中谷内雅之がらも、人生をエンジョイしている人...そういえば、英'97.11.15(土)夕刻より、石神井の先輩の青山にあるオシャレなお店で、卒業後(たぶん...)の同期会を開催。久々に集まった70名あまりが、ワイワイと楽しんだ。15歳で入学し、18歳で卒業したことを思えば、30代半ばになった我々は現役生のダブルカウント。その間、高校を出るまでの自己成長に比べると、大きくなったのはビール腹とずうずうしい態度くらい。まあ皆が集えば、あつという間に高校時代に逆入り。出るは出る、ついに昨日のこのように学生時代の思い出話...先生は、よく授業中にチョークを投げたとか、誰々が何を好きだった...。あの記念photoを含めて、今回同窓会総会場で、同窓会を設けますので、ぜひお立ち寄り。今度は母校の体育館ですので、当日参加できなかった子連れママさんも気軽にどうぞ。  
現在の参加者の近況を聞いてみると、実家を継いで自営業の人、手堅く公務員になった人、不景気にもめげずがんばっている企業戦士、独身貴族もいれば、かわいい子供連れのババ、X1、X2と繰り返しな

# 同期会報告 ・お知らせ

昨年から今年にかけて開催された、同期会・クラス会の報告と、これから予定している会のお知らせです。お問い合わせは、それぞれの期の幹事の方へ、直接お願いします。

## 中学二回(昭和二十年)同期会

佐伯博敏(中学二回)

平成十年十一月六日金曜日、レストランあおしま青山店にて二回ぶりにお元氣な橋本正一先生を岐阜市よりお迎えして第九回目を開催しました。卒業後五十三年を過ぎ、七十才となり、面影はあり乍ら、話し合う中に昔をお互いに名札をつけて、偲び合う貴重な一時でした。

卒業当時、二百五十六名を数えた仲間が現在百六十六名、その中から今回は恩師を含めて四十三人が和やかに懇談・写真撮影ができ、A組ではクラス会もこの年に日をずらして持たれたにもかかわらず、出席された事を皆で喜び合いました。E組幹事立川君が恩師は米寿を迎えられた様に挨拶の中で話したのを受けた先生は、「昨年呼んでいただいて、また今年も呼んでいただいて、本当にみなさんを拝見してまた二年延びた。米寿の話が出ましたが、まだ米寿に足りない(笑)(幹事は数えて!)と(卒業までは生きる積もりだ(年齢を奪わると聞(こえる)又延びるかも知れませんが、どうぞよろしくお願ひします。))と(挨拶を戴く。後で健康法をお聞きしたら、夕食時に奥様と缶ビールを一杯召し上がるのがお楽しみと承りました。高橋会長も同期で、母校の現状、きずなに寄せる会員の)ご協

力に感謝、インターネットに同窓会のホームページの開設等々を紹介して頂きました。京都・岐阜・名古屋・静岡・横浜の各都市と千葉・神奈川からも奮って来談し、美酒を交わし、美食を頂くなど、互いの仕事や第二の人生を語り、すっかり童心に立ち返り、久々に旧交を温める友・朋友。中にはヴァイオリンを作る同期生がその楽器を試奏してくれるという温かい友情・精神病院長も一生徒に返って談笑する雰囲気。この日を築しみに集まった甲斐があり、互いに健康長寿を願って次回平成十二年の再会倍増を約し、全体とクラス別の写真を撮影しました。先生はじめ、お集まりの諸君、各組幹事の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

## 十二期は四年ごと同期会

吉岡幸子(高校十二回)

私たち高校十二回卒業生では、四年ごとオリンピックの年に同期会を開催しております。その間、二年ごとに小さな会を開催し、準備会としています。先回は九十六年アトランタオリンピックの年に同期会をしたので、次は二十年の開催の予定です。写真は、昨年十月十七日に開かれた三同期会です。



## 十六期生(昭和三十九年度卒業)同期会開催レポート

吉沢敏也(高十六回)

「ご参加頂きました先生方ありがとうございました。参加された皆様、楽しい思い出ありがとうございました。参加できなかった皆様、次回にはぜひお目に掛かりましょう。幹事の皆様大変ご苦勞様でした。開催日 平成十年十一月十四日

場所 渋谷東急文化会館 東急ホールデンホール 会費 1万円(一次会費、名簿代、雑費) 参加者 一次会七十七名 二次会六十一名 (二次会・二次会共同一場所を使用)

## 高校二十回卒業三十周年記念合同同期会開催

合同同期会開催

私たち二十回生(昭和四十三年卒)は、昨年七月五日(日)東京九段会館にて卒業後三十周年目にして初めて、同期会を開催しました。

母校石神井高校を卒業して三十年といえは、就職・進学・結婚など出会いや別れがあり、また成功や挫折を体験してきました。卒業生の人生それぞれが「物語」ではないでしょうか!

石神井を卒業したときは、十八歳、その彼等はいまや四十八歳です。三十年振りに、同期生が一同に集まり、顔を見て、語り合おうと企画した次第です。一年前から有志の方々の協力を得て、名簿の追跡・会場の手配・案内状発送等々の準備を行いました。併せて本誌「きずな」の貴重な紙面をお借りしPRしたことも効果があり、当日の出席者は百十八名にものほり、会場受付は長蛇の列ができるほどでした。ご来賓としてはご多忙の中、先生方九名、及び高橋会長のご出席をいただきました。クラス会等はもち



ろん随時、開かれてきましたが、全クラス集合の同期会は、ありませんでした。開会の挨拶に続き、ご来賓を代表し和田又一郎先生の乾杯。ご発声により同期会が進行していきました。遠くは、ニューヨークから秋山君、藤岡君、大阪からは会亀(佐藤)さん、森下(高橋)さん、新潟からは中山(新田)さん他が出席されました。

一、二年次のクラス毎に、担任の先生も交えてのクラス紹介では三十年の年月を一時タイムスリップし、あの時のままの顔、そして顔、担任の先生も楽しそうに、そしてうれしそうにお話をして下さいました。次期開催の為に役員をクラス毎に選び、再会を約束し、最後に全員で校歌を合唱し、記念撮影。そして二次会、クラス毎に三次会、同期会は夜遅くまで続いています。



クラス別出席者の内訳 1,2年次の

- A組(和田) 14名 B組(古川) 15名 C組(長島) 12名 D組(田中) 12名
- E組(森山) 15名 F組(原田) 15名 G組(根上) 11名 H組(西原) 14名
- I組(保母) 10名



# 石神井高校同窓会ホームページのご紹介

URLは <http://www.shakujii-club.gr.jp>

## 石神井高関連ホームページ



石神井高校同窓会では、このURLでホームページを開いています。昨年の9月の運用開始以来利用者は約3,000名です。単に同窓会からの情報発信の場としてだけでなく、同窓生の皆さんからの情報発信もお待ちいたします。

本誌でも紹介いたしました、住所不明者さがしキャンペーン「あの人はどこ？」のホームページが開設されています。住所不明者の連絡先(きずなの送付先になります)をご存知の方は、専用フォームでデータをお送り下さい。

同窓生で独自のメールアドレスをご希望の方には、メールアドレスを発行しております。ご希望の方は管理者までご連絡下さい。

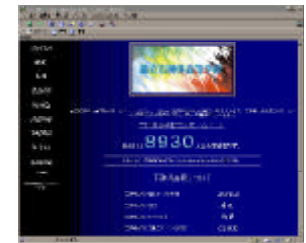
なお、ページの作成・保守は高瀬スナオさん(高32回)にお手伝いいただいております。校歌や「きずな」バックナンバーの抄録、といったコンテンツに加えて、近況報告投稿のフォーム、クラブ・期別の掲示板なども用意していますので、インターネット接続されている方は、ぜひ一度ご覧下さい。

なお、このコーナーでご紹介しているホームページは、同窓会ホームページからリンクをしています。

個人ページを開設している同窓生の方は、URLをお寄せ頂ければリンクしますのでご連絡ください。



「黒菱山荘委員会HP」



OB有志「石神井高校HP」

同窓会ホームページでは、校歌や応援歌が楽しめます。



同窓会ホームページでは、ヤマハVQシステムの使って、校歌や応援歌を直接インターネット経由で聞けるようになっています。応援歌は、今年の体育祭で収録された者のほか、同窓生が個人ライブラリしていた74年ごろの応援歌も公開する予定です。

同窓会ホームページの連絡先  
板谷方彦 27回  
([amjack@shakujii-club.gr.jp](mailto:amjack@shakujii-club.gr.jp))  
高瀬スナオ 32回  
([sunsun@shakujii-club.gr.jp](mailto:sunsun@shakujii-club.gr.jp))

## 石神井同窓会

### ホームページ制作者に聞く

九十八年の9月より本格的に稼働している石神井高校同窓会のホームページは、約3000件のアクセスを数えており、同窓会の「きずな」以外の広報手段としてその価値を徐々に高めております。今回、ホームページの制作をボランティアで引き受けていただいている、三十二回生の高瀬さんにうかがいました。

すてきなホームページを作成していただけて有り難うございます。このホームページは、高瀬さんが最初から作成したのですか？

一昨年、「きずな」を編集されている二十七期の板谷さんからお話がありまして、共同制作をしました。ホームページはHTML形式という簡単なプログラムで書くのですが、この部分は私が担当しています。

現在お仕事もコンピュータ関連だとか？

金融関係のシステム開発会社に勤めているので、その業界に在ることになりますね。

いろいろとご苦労があるのでは？

別にページを作ること自体は大変じゃないんですけれど、内容を作るのがたいへんです。ホームページの中に、クラブ別や期別の掲示板を作ったのですが、それほど書き込みがないので寂しい状態なのが残念です。もっと多くの人たちにページをのぞいて

見てほしいですね。

これから石神井同窓会のホームページはどんなふうにしていくのですか？

同窓会の諸先輩たちといろいろな内容を作っていくんですけど、現在は「住所不明者の調査キャンペーン」に対応するシステムを作りました。ホームページの中で、住所がわからない同窓生の住所を画面内のフォームで送信すると、自動的にデータが送信され集計されるシステムです。そして、住所不明者は不明者一覧から自動的に削除されます。これによって、同窓会の幹事の方たちの手間が省けるのではないかと思います。

いろいろ有り難うございます。なにか利用者に向けてメッセージはありますか？

なるべく多くの方が、ホームページに参加していただきたいと思えます。各クラブなどで掲示板を作成することもできますし、そのほかにもご希望があれば、できる限り反映させていきたいと考えています。

これからもよろしくお願ひします。

(編集部：板谷より)

高瀬くんは、私と共同作業といっておられますが、実体はまる抱えしていただいている状態です。本当にご苦労様です、謝々！

インターネットでは“懐かしのPHOTOライブラリ”を開設する予定です。石神井高校や武蔵関の思い出の写真をお送り下さい。なお、原本の写真をお預かりするよりも、スキャンされてメールに添付される方法がベストです。ご投稿いただく形式などについては、ホームページをご覧ください。なお、写真に写っているかたのご承諾を得たものに限定させていただきます。

### 「黒菱山荘基金」設立と募金趣意書

昭和三十六年に都立石神井高校の山荘として長野県白馬村に建設された黒菱山荘は、幾多の生徒や卒業生に利用されて精神と肉体の鍛錬の場として素晴らしい実績を残して参りました。

山荘の建設には建築家千賀可一氏(高校六期)が担当され、頑丈で工夫された夢のある木造建築物として現存しております。また山岳部顧問の先生方や関係者の方々との熱意ある交渉で白馬村との契約が成功し、その後も大勢の後輩たちのボランティア活動で修理維持管理されて参りました。

冬季オリンピックが白馬村で開催された為、我が山荘のすぐ側まで滑降コースに使用されるなど環境整備も素晴らしく整ってジャンプ台等競技施設も整い、山荘の周辺環境も良くなりました。そこで冬はスキーに春夏秋はお花畑や八方池周辺の雪渓の散策の拠点としては非お越しいただきたいと思っております。

さて、標高千五百メートルに位置する黒菱山荘も、建築後四十年近くになり如何に堅牢な木造建築も老朽化が進んでいる現況となりました。山荘の維持管理の運営は、山荘長を中心に山荘委員会により行われ、その経常費は「父母と教師の会」と「同窓会」とが分担して経費支出をしておりますが、大幅な補修費用などの負担には、会費制の両会共に限界があります。

そこで、学校長、父母と教師の会会長、同窓会長の三者が協議し、この度「黒菱山荘基金」を設立することに致しました。当面五カ年計画で左記

要領により皆様からのご寄付をお願い致したくご案内申し上げます。昨今の景況厳しい折柄ではございますが、何卒趣意にご賛同くださりご支援賜りますように重ねてお願い申し上げます。

なお、基金への応募金額状況、使用計画などにつきましては、同窓会の会報「きずな」や校誌「石神井」に掲載させていただきます。予定です。

#### 記

黒菱山荘基金 目標額 金五千万円也  
一口 五千円

「十口以上の方は山荘内銘板にお名前を刻みます」  
基金振込先 郵便振替口座〇〇一五〇一三二二九七四八番(00503-129748)「黒菱山荘基金」宛  
(預金者名簿作成および参加署名人方式にて連名で管理)

基金管理銀行 中央信託銀行東京中央支店  
(副署名人方式にて定期預金管理)  
平成十一年五月吉日

- 都立石神井高等学校 同窓会長 高橋 勇
- 都立石神井高等学校 校長 外池 武嗣
- 「父母と教師の会」会長 鈴木 凱夫
- 黒菱山荘基金設立発起人代表
- 林 弘(同窓会幹事長 中二回)
- 同 参加署名人
- 城 和裕(「副会長 高十二回)
- 同 署名人
- 浦川 伸一(黒菱山荘委員長 高三十二回)

### 黒菱山荘について思うこと

八重田 茂(高二三回)

皆さんは山荘についてどんな思い出をおもちですか?

私にとって「山荘」と「石神井高校」はほとんど同義語と言ってよく、石神井高校と聞くたびに「山荘」を思い浮かべてしまいます。これはまさにパブロフの犬的反応なのです。思い返せば、山荘で出会い、生活した友人

が。最近の山荘OB・OGは自分の息子程もが違ってきました。

この山荘OB・OG、ボランティアで山荘の管理運営にあたりているわけですが、なかなかしつかりした若者たちなのです。もちろん、年齢的な未熟さはあるかもしれませんが、同じ年齢層の若者の中ではなかなか高い水準の若者が集まっていると感じます。町中での若者の振舞いを見るにつけ、日本の将来はどうなるのだろうか、と不安になる近頃ですが、山荘を訪れる度に「日本の将来はまだ大丈夫」と安心する事が出来るのです。石神井高校を卒業してからもつ(何と!)三十年近くになりますが、山荘で学んだことも多かったのです。掃除にしろ、食事の片づけにしろ、自分たちでやらなければ山荘生活そのものが成り立たない、という義務感や責任感、そして一員として参加し協力しているのだという参加意識、連帯感、先輩に対する礼儀、後輩に対する心遣い、そういった諸々のものが混在して醸成される「場」が「山荘」なのです。

実は今言った義務感、責任感、参加意識、連帯感、礼儀、心遣い、といったものすべてが近頃の教育の中で忘れ去られてしまい、最近の若者(私もこんな言葉を使うようになってしまった...)かつては反発を感じていた言葉だったのに...の中で希薄になってしまったものなのではないか、と感じるのは私だけでしょうか。

都立高校の統廃合の噂を聞く昨今、特色を出そうと各校とも模索をしているようです。でも我が石神井高校に関して言えば、山荘という得難い特色があるのです。体育祭と並んで我が母校の「売り」になりうる特色であると信じています。

もっとも多くのOB・OGが、父母が、先生方が、そしてもちろん現役高校生が山荘を利用し、その雰囲気を楽しむことで、山荘を中心とした繋がりがさらに広まっていくことを願って止みません。

### 現役OG(山荘管理者より)

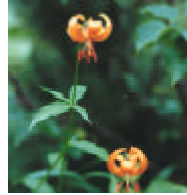
山荘では冬はスキーにスノーボード、夏は後立山の登山、河原のバーベキュー、魚釣り、日本の海水浴場もすぐ近くです。そして夜は満天の星空を見ることが出来ます。また、様々な年代の人と共同生活を行い、普段体験できないことが山荘では出来ます。このような施設をみなさんにも利用していただき、様々な体験をしていただきたいと思います。是非一度、山荘にいらしてください。自然に囲まれて、有意義な時間が過ごせると思っています。

松田慶子(高四十六回)

### 新しい山荘委員長は浦川さん

こんど黒菱山荘委員会の委員長に就任しました高校三十二期の浦川です。委員会活動も六年目を迎え、初代委員長の千賀さんからのパトナタッチです。いつまでたっても山荘って変わってないね、と言われる石神井の数少ない伝統を引き継いで生きたいと思っております。どうぞ今回の特集を機に出かけてみてください。





公開!・これが黒菱山荘の内部だ!

みなさん、石神井高校黒菱山荘を知っていますか。黒菱山荘は、長野県白馬村八方尾根に1961年より建てている歴史ある山荘です。昨年の2月に冬季オリンピック長野大会が開催されことはまだ記憶に新しいことですがそのオリンピックの会場となった場所です。同窓生の中には、学校行事としてまた卒業してから山荘を訪れた方も多いことと思います。冬のスキーはもちろんのこと、これからの夏から秋にかけての登山やトレッキングと素晴らしいクエーションに山荘は位置しています。

### 山荘の利用方法

山荘の管理は、黒菱山荘委員会が行っています。以下の利用規程についてご理解の上ご利用ください。

資格 石神井高校生(ただし保護者の同伴が必要)・PTA会員・同窓会員・教員・その同伴者

宿泊費 同窓会員 学生1200円 社会人1400円 会員外20円増し

\*ただし冬季は暖房費用200円いただきます

期間 基本的に制限をしていますが、山荘に不慣れな方は山荘管理者が入荘している期間の入荘をお勧めします。夏休みはお盆休み前後、年末年始2月から3月にかけては不定期です。

### 利用申し込みの手順

まず大体の日程、人数等をお問い合わせ戴くことをお勧めします。

連絡問い合わせ先 『黒菱山荘委員会 03-3385-8996』  
当日の小屋番の有無、申込み状況、山荘概況等をお伝え出来ます。

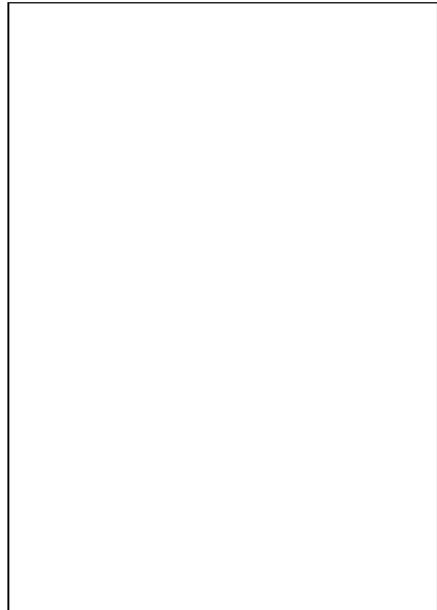
所定の申し込み書にてお申し込み下さい。正確にお書き下さい。特に卒業生・一般の区分、社会人・学生の区分、宿泊日・日数等を明記下さい。

申込みから1週間を目安に宿泊費を指定口座に入金して下さい。入金を確認させませんと現地で宿泊をお断りする場合がありますので御注意下さい。振込用紙の控えは、当日山荘で入荘時に小屋番が提示をお願いする場合がありますので、大切に保管の上当日携帯して下さい。

「指定口座 郵便貯金10130-55842331 都立石神井高校黒菱山荘委員会 浦川 伸一」

申込書を受領し入金を確認されますと、折り返し『山荘利用のしおり』をお送りします。

FAX連絡が可能な方にはFAXで、その他の方には郵送で少なくとも入荘1週間前までに送付します。万一期日までにお手元に届いていない場合は御連絡御確認下さい。



黒菱山荘要目  
所在 長野県北安曇郡白馬村黒菱  
標高 約1500m  
建設 1961年(6期 千賀可一氏設計)  
電話 0261-72-6546



### 山荘でなにすんの?

山荘では四季それぞれに自然の良さを体験できます。春は、北アルプスの山々には残雪が残り、周辺では山菜が採れ、新緑がまぶしいなかで、澄んだ空気を胸一杯に吸い込んで下さい。夏は、3000m級の北アルプス後立山連峰への本格的な登山から、第3ケルン(八方池)や山荘周辺の手軽なハイキングまで楽しめます。一面の高山植物のお花畑や、雪渓での雪遊び、満天の星空等々。夏であることを忘れさせてくれるほどの涼しい気候が魅力です。秋は、燃えるような紅葉の木々と、白馬三山には早くも新雪が舞えます。山はそろそろ長い冬に向けての準備をします。冬は、なんといってもスキーです。黒菱山荘は日本一といわれている八方尾根スキー場のゲレンデの中にあるので、いつでも好きなときに好きなだけ気ままにスキーが楽しめます。朝一番、誰も滑っていないゲレンデにあなたのシュプールが描けます。(残念ながら、スノーボードは山荘周辺では滑走ができません)積雪期でなければ、山荘近くの駐車場まで自家用車で行くことが可能です。周辺には、長野オリンピック関連施設(白馬ジャンプ競技場等) 柵池自然園、大町山岳博物館、扇沢からの黒部立山アルペンルート、そして八方周辺の数多くの温泉などなど。利用の選択肢は、年を追う毎ひろがっています。

山荘での生活は、共同生活です。皆で協力しあって、快適な時間を過ごして下さい。食事の支度も自分たちで行います。自慢の料理を披露する人、料理テクニックを盗もうと必死な人、毎日、ワイワイガヤガヤとにぎやかに料理をしています。山荘の管理を行っている、大学生諸君は山荘で料理を覚える人も多いようです。また食事の後の友との語り、みんな石神井高校の関係者です、いろいろなとの出会い、新しい自分を見つけてみてはいかがでしょうか。

### 山荘委員会の主なメンバー

- 委員長 浦川 伸一(32期)
- 副委員長 泉水 裕二(33期)
- 鳴滝 康正(33期)
- 稲垣 豊(33期)
- 会計 廣坂 晶子(43期)
- 監査 佐藤 賢二(26期)
- 委員 千賀 可一(6期)
- 今井 克博(36期)
- 久保木健太郎(45期)
- 松田 慶子(46期)
- 吉元 大賀(48期)
- 阿部 敏(50期)
- 福井繪里子(50期)
- 平井 麻子(50期)



### 黒菱山荘委員会の活動

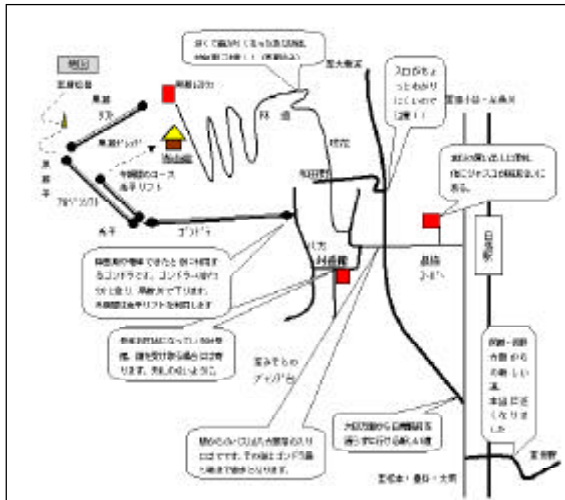
黒菱山荘委員会は1995年に、石神井高校黒菱山荘の維持管理をする目的で発足しました。生徒の校外活動として、1985年以降は黒菱山荘を利用することがなくなり、山荘の管理運営母体が、不明瞭になってしまいました。委員会の発足以来、石神井高校を始め、PTAの方々、同窓会の方々の多大な支援により、5年目を迎えることができました。この間、黒菱山荘の改修・補修(ベランダの改修・ペンキの塗り替え、畳の入れ替え、雨漏り箇所の補修等々)・物品の購入(シュラフの一新、ガスコンロの充実等)を行ってきました。それまでの大学生中心の維持管理から、委員会のメンバーによる活動となり、今まで以上に快適な山荘生活が送れるような形になってきています。現地での管理は、やはり大学生が中心となりいわゆる「小屋番」を行っています。山荘のことを知らない石神井高生が増えている中で、大学生のメンバーを確保することが現在の課題です。(幸運にも昨年は4人の新しい仲間が増えました)委員会では、山荘の維持をするために、年間を通して次のような活動を行っています。5月の準備会(積雪期の片づけと夏の準備)、8月の補修、10月の準備(積雪期に向けての準備・燃料の補給等)です。それ以外の委員会の活動として、8月のトレッキング、2月の連休でのスキーツアー、3月の卒業生を対象のスキーツアーなどを企画、文化祭での在校生への広報活動を行っています。また毎年、7月にはPTAの方々に「星をみる会」として、研修旅行で利用していただいています。



# Let's Enjoy Kurobishi Life!!

山荘委員会の皆さん、写真ご提供の皆さん、ありがとうございます。  
また、被写体のみなさんもお出演どうもありがとうございます!

多くの同窓生の  
思い出の場所“黒菱山荘”  
思い出の彼方と思いきや、同じ場所に  
同じように黒菱山荘は建っています。  
遠い青春の日々の思い出に浸るだけでなく、  
もう一度懐かしい友たちと、黒菱平を訪れてみませんか?



## 1999年夏 石神井高校創立六十周年 特別企画 「黒菱山荘」へ行こう

同窓会の後援を得て、下記の旅行を企画いたしましたので、友人、家族連れ、夫婦、一人旅等々、奮ってご参加下さい。  
黒菱山荘の現在を体験し、白馬山麓を散策しましょう。山荘の今後を考えてみませんか。

2泊3日 宿泊 1日目 山荘 2日目 白馬山麓・プチホテル「スカラ」(08・06 石田夫妻経営) 0261-72-4325  
出発日

A班 7月23日(金)～7月25日(日)

B班 7月24日(土)～7月26日(月)

催行人員 各班とも最大 16名/計32名

会費 2泊6食付 山荘・ペンション各1泊

特急コース 33,000円 JR特急列車利用

Eコノミー 23,000円 JR普通列車青春18切符利用

### 旅行条件

1. 山歩きの装備にご参加下さい。特に靴(はきなれたもの)、帽子、着替え、防寒具
2. 黒菱山荘滞在中は、団体行動、共同作業となりますのでご理解とご協力願います。
3. 部屋割りは、幹事にお任せ願います。男女別の相部屋になることがあります。
4. 会費には個人的に消費するものは含まれておりません。
5. 交通機関のダイヤは11年5月現在
6. 集合場所、時間、乗車券などは、お申込後、詳しくご案内します。
7. お申込は6月20日まで(但し、先着順とさせていただきます。)

6/12 本校 同窓会会場にて受付します。

お申込/お問合せ

〒176-0002 練馬区桜台4-11-2

高橋 一夫 TEL/FAX 03-3991-3586

### 編集スタッフ

- 高橋 一夫(二十回)
- 板谷 方彦(二十七回)
- 勝見 鈴代(別所)(二十回)
- 木村 好一(二十四回)
- 鶴田 洋子(高坂)(二十七回)
- 小林 麻美子(朝原)(二十七回)

### 同窓会誌「きずな」第四十八号

平成十一年五月発行

発行人 同窓会長 高橋 勇  
発行所 都立石神井高校同窓会

東京都練馬区関町北

四の三十二の四十八

03(3929)0831

印刷所

株式会社文明社

東京都新宿区榎町七九番

03(3203)6617

